

松前町

議会だより

No.105

2020年5月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

3月定例会



★『やっぱり外で遊ぶのが一番!』(北伊予小学校放課後児童クラブの校庭で)

P2~5 令和2年 当初の大型予算の内訳
「第5次松前町総合計画」を特別委員会で審議

P6~13 委員会ニュース「お金の使い道」
他「法律改正にともなう条例改正」など

P14~16 **議会報告会&意見交換会**
町民参加型「テーマ別ワークショップ」で

P18~22 一般質問 **4人の議員がズバリ町政に物申す** 他

一般
会計

2020年度予算(前年比4.5%増)

111億2878万円の理由は

3月
定例会

～新年度一般会計予算の特徴～

- 1.新年度当初予算は、前年比4.5%増の111億2878万円で過去10年間にはない最大規模の予算。
- 2.任用制度導入などによる人件費の増、松前中学校改築工事など投資的経費の大幅アップで町債(借入金)も前年比53.8%増。
- 3.子ども・子育て支援、教育費に掛ける町の意気込みを感じる予算

あらまし

3月定例会は、3月2日から18日までの17日間の会期で開催。
 ★1日目に報告3件、条例12件、議決を求めるもの1件、補正及び当初予算で11件の案件が上程され、すべて所管別の常任委員会に付託した。なお議会に議決を求めるものとして出された第5次松前町総合計画の審査については、設置された特別委員会に付託した。
 ★2日目に令和元年度補正予算について審議した。
 ★3日目に一般質問を行い、4人の議員が町政を質した。

★4日～7日目に文教厚生、総務産業建設、予算決算の各常任委員会および第5次松前町総合計画審査特別委員会にて審議した。
 ★最終日に審議された各委員会の報告を受け、すべて原案通り可決した。
 ★追加議案として2件の人事案件に同意し、追加補正予算案件1件についても、原案通り可決した。
 (詳細については、各ページで)

松前中学校改築事業が本格始動
 過去10年間では最高額予算。借入金(町債)も大幅増

最近の景気動向から

「緩やかな回復が続く」とが期待されると回復基調が高まる一方で「海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある」との指摘がある。

その上、2月後半から新型コロナウイルスの感染拡大が全国的な問題となり、国民一人一人の暮らしにも大きな影響をもたらした。想像もできないほどの経済的打撃を与えている。感染の勢いは全世界的に拡大し先行きの見えない景

気動向の中、緊急的な国の動向・要請に応じながらも、住民の要請にこたえてその役割を適切に果たしていかなければならない。新たな着眼や柔軟な発想による徹底した行政改革に取り組み、財源の充実確保を図っていく必要がある。

★議会から一言

町長二期目最初の新年度予算編成は、子育て世代に、また教育の町を提唱する松前町を特徴づけるもので、歳出予算の教育費の前年度からの伸び率は72.9%と突出している。

そのため、町債高も16億円を超えるものとなっている。

算など厳しい局面も予想されるので、しっかり注視していきたい。

★今回の世界的規模の新型コロナウイルス感染という不測の事態に国、県の交付金や補助金の内容がどうなるのか、今後の補正予

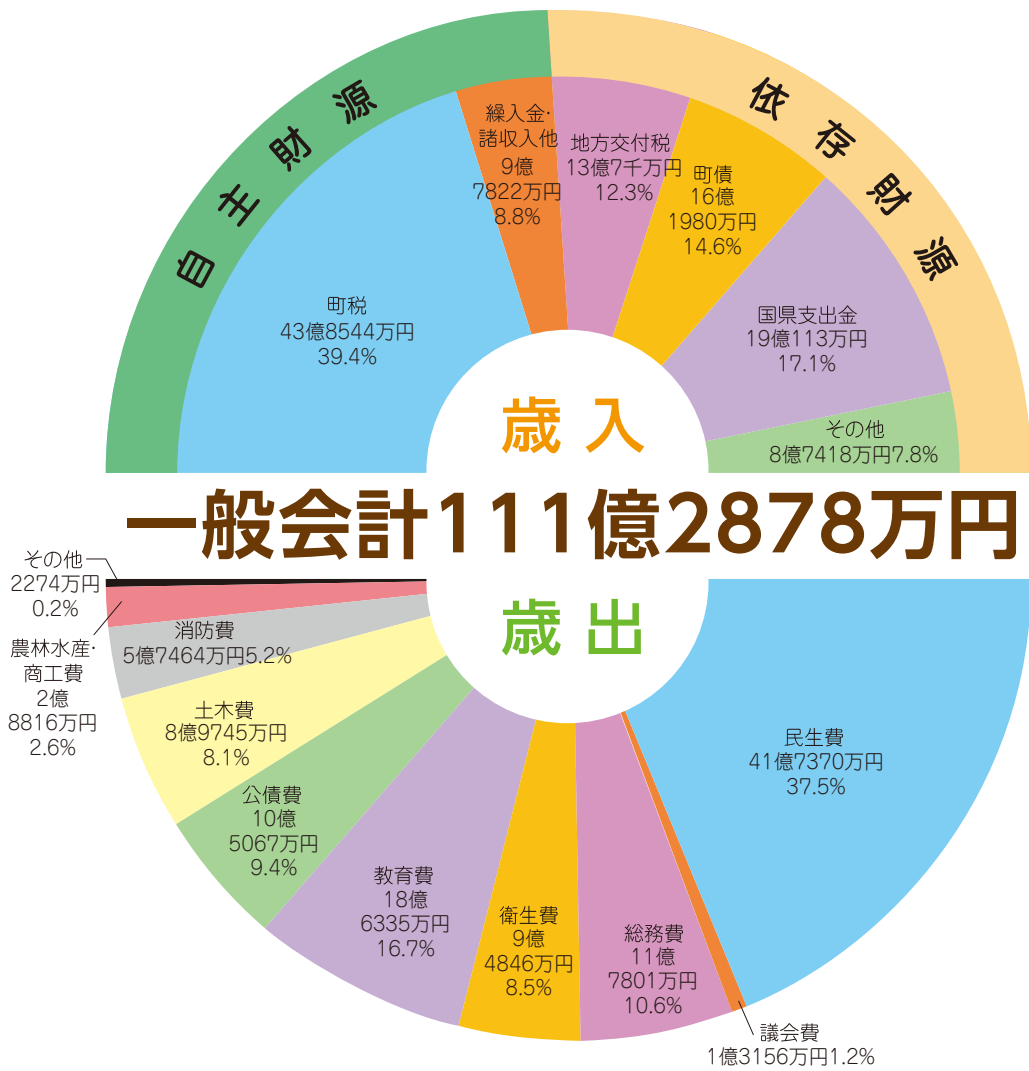
●令和2年3月末の地方債(借入金)と基金(貯金)の在り高状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債(借入金)在り高	113億1053万円	見込額
	36万9565円	町民一人あたり
基金(貯金)在り高	17億7576万円	見込額
	5万8022円	町民一人あたり

(令和2年3月末現在)



新年度予算の内訳



※グラフ中1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合がある。

令和2年度 当初予算の総額

区分	予算額	増減率
一般会計	111億2878万円	4.5
特別会計	65億9969万円	△12.6
国民健康保険特別会計	33億6963万円	△2.6
後期高齢者医療特別会計	4億7058万円	4.6
介護保険特別会計	27億5948万円	△1.1
保険事業勘定	27億4853万円	△1.1
介護サービス事業勘定	1095万円	20.8
合計	177億2847万円	△2.6

令和2年度 事業会計予算

	収益的支出	資本的支出
水道事業会計	4億8391万円	7億4485万円
下水道事業会計	5億423万円	6億8700万円

歳入

税収において町民税法人税割が税制改正に伴い減収になるもの、家屋の新築や償却資産の増により固定資産税は、町税全体で約1億1千万円の増収が見込まれる。

歳出

扶助費などの義務的経費の増大のほか、松前中学校の校舎改築工事や一部事務組合の施設改修に伴う負担金の増額など公共施設の整備などに係る投資

的経費が財政を圧迫しており、予算総額が昨年より4億7475万円増加し非常に厳しい状況になっている。可能な限り町債を充当し、大規模地震災害対策基金からの繰入を行い

財政調整基金からも3億5千万円の繰入をして当初予算編成をした。このような厳しい財政状況の中で、新たな行政課題や社会経済情勢の変化に対応するため、第5次松

前町総合計画に掲げられている各種施策に着実に取り組んでいく。



どう変わる松前の暮らし2020 新大型予算で! (第5次松前町総合計画スタート)

「生きる喜び あふれる まち まさき」5つのまちづくり事業から ◎新規事業

① 安全・安心な生活環境づくり

- ◎第9分団消防詰所建築工事 9438万円
- ◎指定福祉避難所備品購入 180万円
- ・ブロック塀安全対策 150万円
- ・防犯、安全のための街灯設置補修工事 999万円



② 笑顔で暮らせる健康づくり

- ◎障害福祉計画策定 394万円
- ◎子育てのための施設等利用給付 5624万円
- ◎子育て支援相談 546万円
- ・子ども医療費助成 1億3737万円
- ◎健康づくりプロジェクト 513万円
- ◎後期高齢者健康診査 1055万円

③ 豊かな心を育む人づくり

- ・学校生活支援員設置(27名) 2857万円
- ◎学校グループウェアの購入 93万円
- ・小学校施設整備 808万円
(北伊予小井水ポンプ取替、プール吐水口配管取替工事、特別支援教室空調機更新工事)
- ・中学校施設整備 1111万円
(北伊予中井水ポンプ取替、遊具更新、渡り廊下防水改修工事)
- ・松前中学校改築事業 10億7362万円



はだかむぎゅ

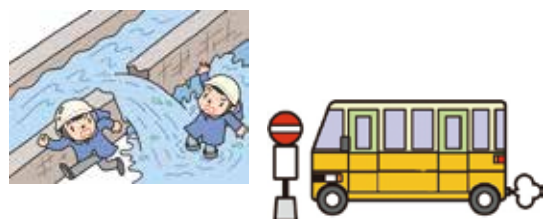


④ 活力あふれるにぎわいづくり

- ・はだか麦プロジェクト 391万円
- ・農業支援(農業用水施設管理、清掃、水路補修等) 4913万円
- ◎地域おこし協力隊募集 21万円
- ・まさき夏祭り運営支援 749万円
- ・まさき町産業まつり(たわわ祭) 784万円

⑤ 快適で暮らしやすい基盤づくり

- ・筒井地区雨水対策 9000万円
- ・国土調査 1254万円
- ◎松前駅前広場整備 374万円
- ◎町営住宅などの維持管理計画の見直し 425万円
- ・コミュニティバス運行支援 1341万円



第5次松前町総合計画を審査!



- ・まちづくりに参画、協働するための共通目標 ➡ **町民**
- ・まちづくりを進めるための経営指針 ➡ **町行政**
- ・必要な施策を要請していくための町の主張 ➡ **国、県、周辺市町**

3月定例議会初日に議長を除く議員13名で第5次松前町総合計画審査特別委員会を設置し、4日目に計画全体を審査し、実施に向けて意見提言をした。
今回の議案は松前町議会基本条例第17条第1号の規定により議決を求めるものである。

第4次総合計画の総括から次の10年間の計画は

問 計画期間が10年と長い理由は。

答 まちづくりの大きな方向性を示すもので、この方針に基づき毎年実施計画を立て事業をし、社会情勢等の変化により見直しを行う場合もある。

西村委員

問 総合計画と、まち・ひと・しごと創生総合戦略との兼合いは。

答 総合戦略は人口減少を抑えるための計画であり、まちづくりの方向性を示す総合計画は必要。

曾我部委員

問 総合戦略だけで十分では。

答 総合戦略は人口増の目的に特化している部分が多いし、今年度が最終年となるため見直しをしている。

曾我部委員

問

10年後の人口目標を設定する基礎資料の数値が平成27年国勢調査

の資料を使用している。直近の人口動態を活用し、最新の情報に基づき現実的かつ合理的な目標とするべきでは。

田中委員

問 住民基本台帳の人口もあるが、実際に松前町に住んでいる人数を基準とする国勢調査を利用している。

答 第4次総合計画の検証と分析を踏まえた上で、第5次総合計画策定作業を進めたのか。

田中委員

問 平成30年度から情報収集、内容の内部協議、アンケート収集、ワークショップの開催数など詰めていった。

答 平成30年度から情報収集、内容の内部協議、アンケート収集、ワークショップの開催数など詰めていった。

意見

第4次総合計画の評価、整理を先にして色々な場面でPDCAを活用してほしい。

曾我部委員

土地利用構想図



問 基本構想の土地利用の考え方は。

答 庁内と有識者を含めて検討を行う予定。都市計画マスタープランの更新も必要であれば検討していきたい。

渡部・住田委員

問 主要施策の「検討する」「努めます」などでは表現が弱いのでは。

答 言葉の使い方であり消極的な意味合いではない。

意見

人口増のためにも田園住宅地ゾーンを住宅市街地ゾーンに変更することや、北黒田海岸部、新貨物駅周辺、JR予讃線や伊予鉄道各駅周辺の土地の有効利用について検討の必要がある。

伊賀上委員

残された課題は「特になし」となっているが第5次の取り組みは。

田中委員

問 第4次の期間中には都市公園の整備がないためE判定だ。今後10年内に公園整備もあり得るので主要施策としている。

答 主要施策名と内容が合っていないものもあるが変更は。

曾我部委員

問 主要施策名に内容の全てを含んで表記しているのだから変更しない。

答 第4次総合計画は自己採点しているが、第5次は何点ぐらいを合格と考えるのか。

村井委員

問 外部評価の導入も検討しているが、60点は越えたい。

答 以上のような審査を行わない採決の結果、賛成多数で原案の通り可決した。

藤岡委員

問 今後のまちづくりを考えた結果として5章編成となった。引き続き実施すべきものとしての施策数である。

答 第4次総合計画総括報告書の主要施策である「水と緑に関する指針」の策定がE判定だ。

問 第4次総合計画総括報告書の主要施策である「水と緑に関する指針」の策定がE判定だ。



予算決算

◎「総務部所管」

議案第21号 令和2年度松前町一般会計予算
 地域おこし協力隊募集事業とは。

藤岡委員

外部の人の目から見た、新たな観光資源の掘り起こしを図ってもらう事業。

防災整備事業費の大規模地震災害対策基金繰入金はどのような収入か。

岡井委員

町で大規模地震災害対策基金を取り崩したものの。

防災一般管理事業について

西村委員

①屋外子局機器修繕事業とは。

②防災行政無線関係委託料は。

③防災関係システム等負担金は

④屋外の放送子局の劣化した蓄電池の取替え

⑤防災行政無線設備の保守。

⑥来年度から運用する

当初予算の注目点を審議

県下統一のシステムの負担金。

第9分団消防詰所建築工事の着工予定と完成予定は。

藤岡・田中委員

入札は6月ごろ、それ以降の着工。来年3月の竣工を予定。

消防団員報酬、手当が320万円程度増額している理由は。

田中委員

消防団の操法大会訓練のための報酬分だ。



国土強靱化地域計画に国からの補助金交付は。

田中委員

今回初めて作る計画である。計画策定に国費は付かないが、策定された事業を進める際には国費がつく。

財務書類等作成業務委託料が増額になって

いる理由は。

田中委員

固定資産台帳異動更新と連結財務書類作成支援を合わせたため。

中間サーバー運用経費補助金約100万円増額の理由は。

田中委員

次期システムへの更新に係る補助金が増えたため。

市町村たばこ税を300万円増収と見込んでいるのはなぜか。

藤岡委員

税率改正があるため増収と見込んでいる。

不動産鑑定委託料が減額と賦課徴収事務等電算処理委託料が減額になった理由は。

田中委員

鑑定評価業務が不要となり、ASPサーバーの設定委託料が不要となったため。

意見

金額の変動が大きいものについては、最初の説明段階で内容を明らかにしていただきたい。

田中委員

◎「産業建設部所管」

「まさき夏祭り実行委員会」に補助金を交付している理由は。

西村委員

夏祭り実行委員会は自立できる団体ではないため、夏祭りの運営の支援として。

「はだかむぎゅ」がまさき村で販売されていないのはなぜか。

西村委員

あわしま堂が製造しており、3月1日の段階では、同社と取引のあるスーパーマーケット等を中心に販売開始している。地産地消の拠点となる「まさき村」で販売ができるようあわしま堂に働きかけている。

産業まつり事業に市町振興協会補助金の交付は。

田中委員

市町振興協会のイベント助成金は2年連続は出ない。

レンタルサイクル事業の実績を見ると初年度で1台当たり2万円の補助の計算になる。事業的に今後どうするのか。

村井委員

令和2年度は事業を継続し、事務事業評価で成果を見て、効果がなければ一旦打ち切り効果があれば引き続き継続したい。

意見

借りた時間、返した時間滞り時間がわかり、行き先を聞けば、行った先の整備も検討できるのではないか。滞在時間を調べ、数字的根拠を持って効果があるかの立証をしていただきたい。

曾我部委員

新規漁業就業者補助が今年度で終わる説明があったが、第5次松前町総合計画に、漁業後継者の育成確保に關与するということは、新年度新規就業者に補助は考えていないのか。

令和2年度の当初予算について今のところ対象者はいないが、今後、漁協と連携を図りながら国の事業等を活用し、定着促進、確保に努めていきたい。

曾我部委員

意見

総合計画にあるということ松前町で支援することだ。補助金の項目を挙げておかないと出所がない。令和3年度以降は挙げてほしい。

曾我部委員

町営・改良住宅管理事業の、その他の歳入1926万円は何か

岡井委員

住宅の家賃収入である。

松前駅前広場整備の事業計画は。

村井委員





答 令和2年度の基本計画において、事業内容や事業費を検討していきたい。駅舎も改修する場合には伊予鉄道にどの程度補助するかは他市の状況を参考にしたい。またバリアフリー化も必要である。

意見

周辺拡幅工事中の「浜交差点」は事故が多いところである。歩車分離、スクランブル化など交通事故防止に向けた取組が必要である。

田中委員

◎「教育委員会所管」

問 学校生活支援員の報酬の決め方、予算増になった理由は。

藤岡委員

答 報酬は町の基準に基づく。予算額は人数が増えたことと、令和2年度から会計年度任用職員として任用する手当等が増えたため。

問 学校用グループウェアと校務支援システムとの違いは。

答 グループウェアは個人のスケジュール管理やメッセージのやりとりを共有して行うもの。校務支援システムはグループウェアも含めて学校教育全般の事務管理を統合してカバーできるもの。

問 学校防災教育実践モデル地域研究事業の概要と、岡田小学校が拠点校となった理由は。

田中委員

答 町内の幼稚園や学校、地域の方と協働で防災について実践的に研究するもので、岡田小学校は、重信川が近く決壊した時の対応が懸念されているためである。

問 ①GIGAスクール構想とは。
②コンピュータ借上げは継続するのか。

早瀬委員

答 ①1人1台のタブレットを整備する予定。

②タブレットと教育用パソコンは、当面並行して設置する考え。

問 松前中学校改築工事について、令和元年9月議員全員協議会の資料と比べて金額が1億

円増えている理由は。

田中委員

答 予算計上額は、契約締結に当たり工程を検討し、令和2年度と令和3年度の支払額の配分が変更になったもので、総額は変更ない。

問 教育費の内、事業費が前年度に比べ増えている理由は。

田中委員

答 教科用図書の採択に伴い教師用指導書の購入費用で600万円程度の増額、中学校の学校営繕費（北伊予中学校の渡り廊下防水工事）で600万円余りの増額、給食センター管理費（高圧受電設備更新工事）で600万円程度の増額などのため。

答 使用料増額は令和3年度から加味されることになる。

田中委員

◎「保健福祉部所管」

問 社会福祉協議会運営補助金の増額の理由は。

藤岡委員

答 社会福祉協議会の事業である介護保険事業が継続して赤字となったことから、町の補助要綱の満額を補助するため。

問 松前保育所及び岡田小学校放課後児童クラブ解体後の利用計画は。

藤岡委員

答 解体後の利用計画は決まっていない。

問 認定こども園等保育事業の事業費増は青葉幼稚園によるものか。

田中委員

答 青葉幼稚園は含んでいない。認定こども園の施設数と対象者数が増えたことによるものと見込んでいる。

問 コミュニティバスの乗車数は。利用者が少なくなっても続けるのか。

西村委員

答 1便10名ほどの利用があり、月2500人ほどの方が利用している。高齢者の移動手段として必要な事業だと考えている。



伊賀上委員





問 空家活用支援事業の
検証は。事業内容の見
直しは。 **田中委員**

答 昨年、まちづくり課
が「使える家か、貸し
てもいい家か」の整理
を行っている。貸して
もいい空家の提示をす
るよう事業内容の見直
しを考えている。

問 伊予地区ごみ処理施
設管理組合の事業費増
の理由は。 **村井委員**
答 バックファイター更新
による事業費増である。

交換工事費のうち、一
部は特定財源として地
方債を使う予定で、差
し引いた分を人口割等
で案分し、伊予市と松
前町それぞれの負担金
を出している。

問 ごみの量も減ってい
ることから、ごみ袋有
料化の見直しはしない
のか、一般競争入札す
れば、収集代が安くな
るため、ごみ袋を有料
化する必要はないので
は。 **村井委員**

答 事業の性質上、一般
競争入札にそぐわない
ものもあるため、今後
検討していく。

意見

伊予市では一般競争入
札により長期契約で行っ
ている。本町でも検討し
て欲しい。 **村井委員**



問 運転免許自主返納支
援事業の報償金の返納
者の予定人数の想定は。
事業費が減額となる理
由は。 **藤岡委員**

答 令和元年度の実績人
数で計上、タクシー初
乗り基本料金助成券を
167名、私鉄プリペイド
カードを145名、JR旅
行券交付を5名で計上。
利用者は落ち着いてく
ると見込んでいる。

問 子育て世代支援相談
事業の支援プランはい
つ頃誰が策定するのか。
藤岡委員

答 4月開設のため4月
からプランの作成を行
う。作成は主に保健師
が作成し、社会福祉士
も関わる場合もある。
(全員一致で可決)

議案第22号 令和2年度
松前町国民健康保険特
別会計予算
(全会一致で可決)

議案第23号 令和2年度
松前町後期高齢者医療
特別会計予算
(全会一致で可決)

議案第24号 令和2年度
松前町介護保険特別会
計予算
問 国が介護予防支援事
業に力を入れるとある
が、町で新しい取組を
するのか。 **藤岡委員**

答 新しい事業の予定は
ないが、現在行ってい
るフレイルチェックを
行い、介護になる前の
状態を水際で食い止め
る等、現在行っている
事業を継続する。
(全会一致で可決)



議案第25号 令和2年度
松前町水道事業会計予
算

問 上水道基幹施設運転
管理業務の委託料が前
年に比べ1000万円
以上増額している理由
は。 **曾我部委員**

答 契約の更新年であり、
人件費等が値上がりし
ていることにより委託
料が増加した。
問 高額の委託料で外部
委託するメリットは。

答 施設の運転管理、水
質管理、部品交換など
運営に係る全てに対応
し高度な運転技術、専
門的な知識が必要とな
る。そのため外部委託
することにより維持管
理を適切に行っている。
管理を行う上で資格が
必要なものもある。
(全員一致で可決)

議案第26号 令和2年度
松前町下水道事業会計
予算
(全員一致で可決)

3月補正予算

議案第16号 令和元年度
松前町一般会計補正予算
(第7号)

歳入歳出予算3億8
089円を追加し、総
額を11億2023万7
千円とする。

◎「総務部所管」
特に質疑はなし

◎「産業建設部所管」

問 商工総務費の工事請
負費の減額は。

答 街路灯整備事業費を
1263万6千円計上
したが契約額95万円と
なり306万6千円の減額
となる。

問 ①農地費の「浸水想定
区域作成委託」とは。

②事業費60万円の根拠は。
藤岡・田中・村井委員

答 ①横田地区にある2か
所の農業用ため池の浸
水想定区域図を作成す
るもの。
②事業費の根拠は国か
ら示されたもの。

学校教育にかける大型補正予算の内容など、集中審議を

問 北伊予小学校トイレ改修工事の経緯と1億円の予算規模の理由は。

影岡委員

答 国から学校施設環境改善交付金を受け校舎及び体育館のトイレの洋式化、多目的トイレの設置を行うもの。便器、配管も含めた全面改修を行うため高額となった。

問 GIGAスクール事業の概要は。

村井委員

答 1億395万円は普通教室・特別教室の高速無線LANの整備、普通教室のタブレット端末保管庫及び充電器設置と、ネットワーク環境整備に要するもの。

◎「保健福祉部所管」
問 子ども・子育て支援費の負担金1630万1千円の内訳は。

田中委員

答 公立保育所負担金88万9千円、認定こども園負担金630万7千円、私立幼稚園負担金910万5千円である。

問 ①マイナンバーカードの交付率と交付枚数は。

②来年度から窓口時間延長サービスを終了とのことだが、今後は行わないのか。

藤岡・田中委員

答 ①2月末時点での交付率は15・45パーセント、交付数は4777枚である。

②住民の方の時間延長サービス要望があれば検討する。

(全員一致で可決)

議案第17号 令和元年度松前町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
(全員一致で可決)

議案第18号 令和元年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)
(全員一致で可決)

問 保険課の地域密着型介護サービス給付費及び地域密着型介護予防サービス給付費の減額の理由は。

小規模デイサービスの予算が介護予防サービス等給付費から地域密着型サービスへ移行し、当初予算で見込んだ額を下回ったため。

藤岡委員

(全員一致で可決)

議案第20号 令和元年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
(全員一致で可決)

令和元年度 一般会計3月補正予算概要

■予算総額

(単位:千円)

区	分	補	正	前	補	正	額	補	正	後	増	減	率
本	年	度	11,439,347		380,890		11,820,237						3.3%
前	年	度	10,775,163		134,590		10,909,753						1.2%

■松前町一般会計補正予算

(単位:千円)

科	目	項	目	主	な	増	減	3	月	補	正	金	額
議	会	費											-2,000
総	務	費	選挙費										-17,922
民	生	費	児童福祉費										8,974
衛	生	費	保険衛生費										-9,642
			清掃費: 委託料・し尿処理費負担										-27,486
農	林	水	産	業	費	浸水想定区域作成							600
商	工	費											
土	木	費	公共下水道線出金										-5,658
消	防	費											0
教	育	費	学校環境改善										68,600
			GIGAスクール										103,950
			小学校営繕										108,000
公	債	費											0
諸	支	出	基金費										185,370
予	備	費											0
そ	の	他											-33,896
合	計												380,890
													380,890



総務 産業建設

国の法律改正による 条例の一部改正を行う

議案第3号

松前町監査委員条例の一部を改正する条例

要旨

地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴い、改正を行う。

問 第243条の2に、第3

項を加え項に限定した改正なのか。

影岡委員

答 改正前の条例は、条
だけのものや順番もバラ
バラのため、項まで引用
するよう改めたもの。

(全員一致で可決)

議案第4号

松前町固定資産税評価審査委員会条例の一部を改正する条例

要旨

情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利

用に関する法律等の一部を改正する法律により、行政手続における情報通信の技術の利用に関する法律が改正されたことに伴い、改正を行う。

問 第3条第1項が改正

後に第6条第1項に変わったが内容は変わるか。

影岡委員

答 電子情報処理組織による申請等と同じ内容で大まかに変わったところはない。

(全員一致で可決)

議案第5号

松前町会計年度任用職員
の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

要旨

松前町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の規定に誤りがあったため、改正を行う。



問 規定の誤りを訂正するため1週間当たり

を、1日当たりには改正したが、修正を踏まえての人員費の予算か。

影岡委員

答 直接的に今の当初予算には影響ない。

(全員一致で可決)

議案第7号

松前町営土地改良事業等の分担金等徴収条例

要旨

町が施行する土地改良事業に相当する事業に係る地元の負担について明確化し、及び規定の整備を図るため、改正を行う。

(全員一致で可決)

議案第8号

松前町が管理する町道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例

要旨

道路構造令の一部を改正する政令の施行に伴い、町道を新設し、又は改築する場合における自転車通行帯の設置に関する基準を定めるため、改正を行う。

問 条例中に「交通量が多い」等とあるが、判断基準はあるのか。

村井委員

答 交通量の判断は、国交省からの通知を参考に判断する。今後の道路整備の基準とする条例であり、自動車交通量が多いから直ちに自転車通行帯を整備するものではない。

問 自動車交通量等の数字が国交省からの通知であることについて、

松前町独自の基準が必要ではないか。

村井・加藤・西村委員

答 独自基準は考えていないが、柔軟に対応したい。

(全員一致で可決)

議案第9号

松前町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

要旨

道路法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、町道に係る占用料を改定するため、改正を行う。

(全員一致で可決)



入居条件が緩和される町営住宅

議案第10号

松前町町営住宅管理条例の一部を改正する条例

要旨

民法の一部を改正する法律の施行に伴い、並びに町営住宅及び改良住宅の入居条件を緩和するため、改正を行う。

問 連帯保証人を1人にするのか。

稲田委員

答 新たに入居される方は1人だが、現在入居している方は2人のままである。

問 国交省は、身寄りのない高齢者や低所得者の住まいを確保するということで連帯保証人は無くてもよいと、判断は各自自治体に委ねていたはずだが、本町の考えは。

答 本町については、入居者の緊急連絡先、家賃滞納などで1人は確保したいと考えている。
(全員一致で可決)

早瀬委員

議案第11号
松前町水道事業の設置等に関する条例及び松前町職員定数条例の一部を改正する条例

要旨
松前町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用するため、改正を行う。

問 公営企業法適用の下水道事業になると一般会計からの繰出しができにくくなるのではないか。

答 一般会計からの繰出

加藤委員

しをいただきながら運営をしていくこととなる。組織の名称、会計基準は変わるが、内容的には変わらない。

問 上水道事業、下水道事業を併せて外部委託する考えはないか。

答 今のところ一括してすべての業務を民間委託することはない。

加藤委員

問 事務局職員定数14人となっているが、現在の職員数と、今後の増員予定は。

答 職員は現在、水道事業6名、下水道事業5名。人件費等、町全体の増員等今のところ分らない。

早瀬委員

問 下水道事業は現在、旧松前地区を中心に整備をしているが、一般会計から下水道事業に繰出しをすることは、整備がされていない北伊予・岡田地区は不公平感があるのではないか。

答 下水道が整備されていない地域には浄化槽

村井委員

設置に補助金の交付を行っている。
(全員一致で可決)

議案第12号
松前町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整理に関する条例

要旨
松前町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴い、改正を行う。
(全員一致で可決)

議案第13号
松前町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

要旨
水道事業及び下水道事業の業務に関する負担付きの寄附の受領等及び町が支払うべき損害補償の額の決定に係る議会の議決を要する範囲の適正化を図るため、改正を行う。

問 負担付きの寄附又は贈与とはどういうものか。

答 町に対して一定の条件を付けて寄附をするもの。一定の条件が履行されない場合には、寄附が解除される。
(全員一致で可決)

影岡委員

文教厚生

6月1日の開校が待ち遠しい 岡田小学校放課後児童クラブ

議案第6号

松前町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

要旨
岡田小学校放課後児童クラブの施設整備に伴いその位置を変更するため、改正を行う。

問 施設の完成が2か月遅れるため、その間、小学校の特別教室を借りるが、校舎の警備のセットや解除について学校教育課と協議はできているか。

答 今後協議を行い警備について間違いのないようにしたい。

曾我部委員

問 位置変更とあるが、分筆したのか、分筆したのであれば面積、登記費用はどうなっているか。

伊賀上委員

答 分筆を行い、面積は667㎡で、分筆登記費用は、平成30年度の岡田小学校放課後児童クラブ新築工事設計委託料の中に含まれている。

意見

提案する際は、面積など詳細を先に説明してもらいたい。

伊賀上委員

(全員一致で可決)



岡田小学校
放課後児童クラブ



こんなことを決めました！

報告事項

専決処分報告

①専決第1号

(予讃線北伊予駅構内東西自由通路新設工事変更協定の締結について)

・工事完了に伴う精算のため

協定金額の変更

●変更前

2億6146万4千円

●変更後

2億6062万

5千380円

●相手方

四国旅客鉄道株式会社

②専決第2号

(松前中学校解体工事(一期工事)変更請負契約の締結について)

・主に校舎解体工事中に検出されたダイオキシンの処分料の増のため

協定金額の変更

●変更額

416万9千円の増額

●相手方

松山市北梅本町甲18

4番地

オオノ開発株式会社

代表取締役社長

大野 剛嗣

③専決第3号

(北公民館耐震補強建築主体工事変更請負契約の締結について)

・消費税率増による増額のため

協定金額の変更

●変更額

184万円の増額

●相手方

松山市福音寺町239番地

株式会社 岡崎工務店

代表取締役

岡崎 智久

追加議案

人事案件

⑳松前町副町長の選任

徳居芳之氏《浜》の選任を(新任)

全員一致で同意

㉑松前町教育委員の任命

郷田智成氏《大間》の任命を(再任)

全員一致で同意

㉒一般会計補正予算(第8号)

・学校教育のGIGAスクール事業の国費補助の減額通知があり、その不足分を町債と一般会計で補填するため変更した。

国費	3574万円
	△1618万円
町債	6800万円
	+1610万円
一般会計	+15万6千円

全員一致で可決

3月定例議会

提出議案等への各議員 賛否表

○：賛成 ●：反対 △：議長 欠：欠席 不：採決時不在

報告・議案等番号、内容	議員名	関連ページ	早瀬	西村	渡部	曾我部	影岡	田中	住田	稲田	加藤	藤岡	村井	岡井	三好	伊賀上
			隆士	元一	恵美	秀司	俊範	周作	英次	輝宏	博徳	緑	慶太郎	馨一郎	勝利	明治
報1 専決処分の報告について(予讃線北伊予駅構内東西自由通路新設工事変更協定の締結について)	受理	12	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-
報2 専決処分の報告について(松前中学校解体工事(一期工事)変更請負契約の締結について)に関する条例	受理	12	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-
報3 専決処分の報告について(北公民館耐震補強建築主体工事変更請負契約の締結について)	受理	12	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-
3 松前町監査委員条例の一部を改正する条例	可決	10	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
4 松前町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可決	10	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
5 松前町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	10	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
6 松前町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	11	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
7 松前町営土地改良事業等の分担金等徴収条例	可決	10	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○



報告・議案等番号、内容	議員名	関連ページ	早瀬隆士	西村元一	渡部恵美	曾我部秀司	影岡俊範	田中周作	住田英次	稲田輝宏	加藤博徳	藤岡緑	村井慶太郎	岡井馨一郎	三好勝利	伊賀上明治
8	松前町が管理する町道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	10	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
9	松前町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	可決	10	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
10	松前町町営住宅管理条例の一部を改正する条例	可決	10 11	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
11	松前町水道事業の設置等に関する条例及び松前町職員定数条例の一部を改正する条例	可決	11	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
12	松前町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整理に関する条例	可決	11	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
13	松前町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決	11	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
14	松前町水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	11	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
15	第5次松前町総合計画の策定について	可決	5	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
16	令和元年度松前町一般会計補正予算(第7号)	可決	8 9	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
17	令和元年度松前町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決	9	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
18	令和元年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	可決	9	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
19	令和元年度松前町介護保険特別会計補正予算(第5号)	可決	9	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
20	令和元年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決	9	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
21	令和2年度松前町一般会計予算	可決	6 8	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
22	令和2年度松前町国民健康保険特別会計予算	可決	8	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
23	令和2年度松前町後期高齢者医療特別会計予算	可決	8	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
24	令和2年度松前町介護保険特別会計予算	可決	8	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
25	令和2年度松前町水道事業会計予算	可決	8	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
26	令和2年度松前町下水道事業会計予算	可決	8	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
27	副町長の選任について	同意	12	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
28	松前町教育委員会委員の任命について	同意	12	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
29	令和元年度松前町一般会計補正予算(第8号)	可決	12	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○

議会報告会&意見交換会

文教厚生常任委員会主催

日時：令和2年2月20日(木) 19:00～

参加者

住民40名 (男性17名、女性23名)
議員11名

議会活動及び委員会視察研修報告

議会活動や議会運営の流れについての紹介と文教厚生常任委員会視察研修の報告を行った。

①議会活動について

町議会は、町民生活の諸問題の解決策を考え、町長から提出された条例や予算などが適正かどうかを審議・議決し、町長の行う行政全般をチェックしている。

町議会と町長は、町政を支える両輪として独立・対等の立場に立ち、互いを尊重し、論議し合いながら住みよいまちづくりのために努力している。

②議会運営の流れ

議会活動である会議は、本会議と委員会がある。

本会議は、議員全員で構成される会議で、町長から出された議案などを審議する。



この本会議で取り扱う議題は多く、問題も幅広い分野にわたっている。そのため、いくつかの部門に分けて詳しく審査する常任委員会を設けている。

常任委員会には、総務産業建設常任委員会、文教厚生常任委員会、予算決算常任委員会、議会広報常任委員会の4つがある。

本町では委員会中心主義を採用し、委員会の各所管に関係する案件を審査・採決し、その後本会議で委員長が委員会での審査結果や



調査経過を報告し、最終的に議決する形をとっている。

その他、議会運営委員会や全員協議会など、さまざまな会議がある。

③文教厚生常任委員会視察研修の報告

「議会だより 12月定例会(2020年2月1日発行)」をもとに視察研修報告を行った。

★報告後、文教厚生分野別グループに分かれ、意見交換会を行った。

意見交換会 (ワークショップ形式での話し合い)

	よい点	問題点	今後に向けて
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 中学生までの医療無償化や子育て支援など早くからされている。 ファミリーサポートシステムが充実している。 本町は地域力が強い。地域の子どもは地域で守ろうと頑張っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童問題があり、特に3歳未満の子どもが保育所等に入りにくい。 保育士が不足している。 学童保育の場で問題のある子どもが増えている。 不登校などの小中学生を受け入れる機関がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士や支援員、サポーターなど、長く勤めることができるような環境づくりを。 ファミリーサポートの周知の徹底と利用料金の手厚い補助を。 子育ての大切さの指導などをもっと行政の手で。

	よい点	問題点	今後に向けて
教育関係	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の連携がとりやすい。 ・教育委員会のサポート体制がよく、学校とのつながりが深い。 ・地域のサポートがよい。 ・素直で健全な子どもが育っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の働き方改革には限界がある。 ・ICT化が遅れている。 ・インターネット環境が整っていない。 ・中高生に対する施策が弱い。 ・子どもの居場所が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合型校務支援システムの早期導入を。(予算確保が必要だが、エアコン導入時のスピード感を。) ・教育と福祉の連携を。 ・教育センター等の学校を越えた枠組みづくりや中高生の居場所づくりを。
介護支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域力が高く、地区ごとに住民サロンがあり、高齢者の憩いの場となっている。 ・設備の充実や職員の教育等、努力している介護施設が多い。 ・要支援・要介護認定率が全国平均を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引きこもりがちな高齢者が増えている。 ・介護職員の不足や職員の入れ替わりがあり、臨時職員も多くなっている。 ・行政の対応が、介護サービス縮小に向かっていているように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動等、積極的に近隣の高齢者への声掛けや訪問を。 ・給与や資格取得に向けての支援等の処遇改善を。 ・介護保険制度について議員も学び、予算や事業内容の審議に。
文化・観光	<ul style="list-style-type: none"> ・珍味がある。 ・緑が多く、美しい田園風景がある。 ・清らかで豊富な水があり、親水公園がある。 ・歴史ある史跡や文化財が豊富にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表するグルメ・郷土料理がない。 ・観光面における受け入れの施設が整備されていない。 ・観光に対しての関心が薄く、知名度も低い。 ・観光課などがなく、ボランティア任せになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心となる観光事務局を。 ・産業課や商工会だけでなくボランティアや学生など横の連携を強めての活動を。 ・インスタやフェイスブックなどで、宣伝・広報して集客を。
環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・水の心配がない。 ・資源ごみの細分化が進んでいる。 ・ごみ置き場の掃除が行き届いている。 ・ごみ分別について、20名以上集うと行政より指導を受けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別地域学習会は実際に実施できているのか。 ・各字に環境部があるが、機能していない。全体会もない。 ・プラごみが多く、汚れたものを出さないなど、出し方が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理場を見学し、分別の大切さなどを学ぶ場を。 ・ごみの分別に関する行政による指導・勉強会が、20名以上でできるということの周知徹底を。 ・分別の大切さを一人一人が生活の中に浸透を。

★90分では足りないほど、意見交換会では多くの意見が出されて盛り上がった。今後、出された意見を政策提言や一般質問などで生かし、町民の思いが実現できるよう努力したい。



議会報告会&意見交換会

アンケート結果

問1 年齢

50歳以上が多い。

問2 性別

女性がやや多い。

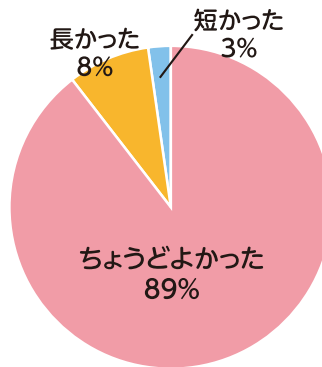
問3 何で知ったか

「知人や議員から」が多い。

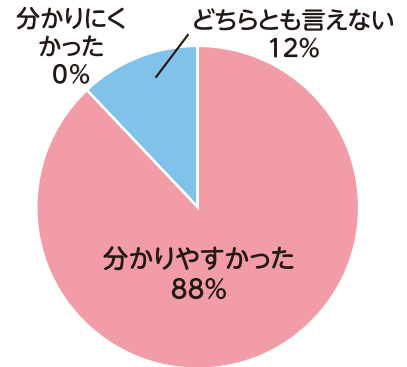
問4 開催日時

ほとんどの人が「参加しやすかった」である。

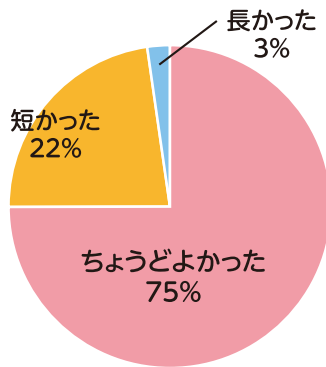
問5 ① 議会報告会の時間



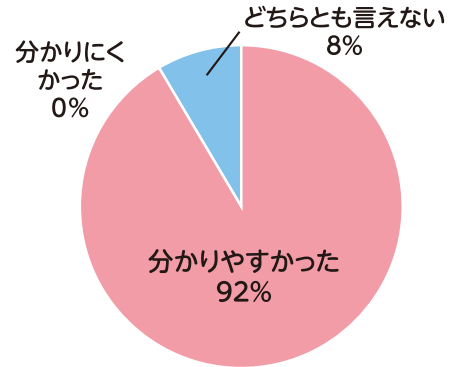
問5 ② 議会報告会の内容



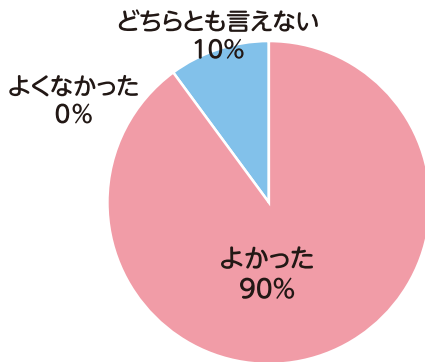
問6 ① 意見交換会(ワークショップ)の時間



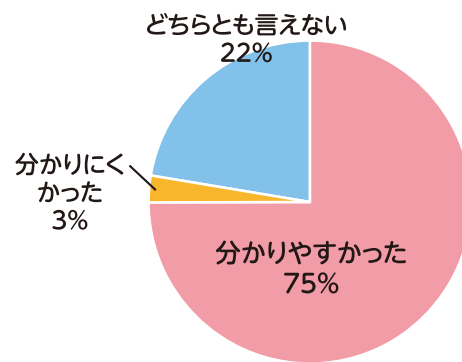
問6 ② 意見交換会(ワークショップ)の内容



問6 ③ 意見交換会(ワークショップ)のテーマ設定



問7 配布資料



感想と意見

- ・大変勉強になった。
- ・専門分野が分かる人たちが集まり、具体的な話合いができてよかった。
- ・議員に直接住民の声を届けることができてよかった。
- ・皆で松前町を変えていく、よいところはそのまま引き継ぐ必要性があることが分かった。
- ・地域や学校の声を聞いてもらえてよかった。改善にはお金もかかるので、制限もあると思うが少しでも前進してほしい。

- ・参加者の意見交換のみで、議員の意見やどんな問題意識をもって活動しているのかが見えなかったことが残念であった。
- ・ワークショップをしたことでスケジュールをこなしたことにしないでほしい。近いうちに政策として町民に分かる形にしてほしい。
- ・何かあると「予算が…」と言わず、しっかりと取り組んでほしい。
- ・本会議や委員会を時々休日や夜間にしてほしい。

議長会活動より

「第29回定期総会」にて
全国監査委員協議会を開催

1月23日、全国町村議員会館（東京）で開催され、約60人が出席。

本県から安永会長（松前町代表監査委員）及び常務理事が出席した。

●日本大学総合科学研究所教授、弁護士松嶋隆弘氏の講演を聴講し、続いて総会が開催され、会務、監査を報告し承認、「令和2年度事業計画及び収支予算」を議決した。



（提案に立つ、安永会長）

第3回県町村議会議長会
全員協議会を開催



1月16日愛媛県農業共済組合（NOSA I えひめ 松山市）で開催。

森永会長、赤松副会長、上島町池本議長、久万高原町日野議長、松前町加藤議長、砥部町中島議長、伊方町木嶋副議長、鬼北町渡邊議長及び愛南町内倉議長が出席した。●行事関係、専決処分について報告の後、平成30年度決算内容説明と、令和2年度会務運営方針及び事業計画の内容説明の後、一同了承した。

4議員が登壇

藤岡 緑 議員(18ページ)

- ◆公正な入札制度に向けての見直しは
- ◆待機児童問題への対策は
- ◆新型コロナウイルス感染拡大への対策は

西村 元一 議員(19ページ)

- ◆松前中学校建て替え入札中止の判断は
- ◆義農湛水防除施設改修でのポンプ用エンジンの修理は
- ◆人事における職員配置と人材育成は
- ◆入札における予定価格について
- ◆訪問介護の対応はどうなっているのか

曾我部秀司 議員(20ページ)

- ◆第4・5次松前町総合計画での人口目標への取組みは
- ◆第4・5次松前町総合計画の現時点での成果・課題は
- ◆基本計画・実施計画の見直しは

影岡 俊範 議員(21ページ)

- ◆基本計画(子育て支援の充実)での助成制度の考えは
- ◆エコスクールの取組みは

いっぱん質問

ズバリここが聞きたい

目次

一部事務組合予算

総額 2億210万円

- 分担金及び負担金 1億9207万円
(内松前町分 1億1551万円)
- 順調なメンテナンス、修理ヶ所の減少により高額な薬剤購入が少なかったため歳出が減に

塩美園

伊予市松前町共立衛生組合

総額 7億1800万円

- 分担金及び負担金 4億5480万円
(内松前町分 2億621万円)
- 定期整備工事及び、2号炉バグフィルター更新・制御盤更新等

伊予地区ごみ処理施設管理組合
伊予地区清掃センター

総額 2億8628万円

- 分担金及び負担金 1億4904万円
(内松前町分 7461万円)
- 出身地別措置者数(令和2年4月1日現在)
松前町 … 20人 伊予市 … 16人
砥部町 … 3人 組合外 … 10人

伊予市伊予郡養護老人ホーム組合 和楽園

総額 16億7024万円

- 分担金及び負担金 16億1537万円
(内松前町分 4億4845万円)
- 令和2年度伊予消防等事務組合重点施策
大規模・複合災害時の消防活動体制充実強化
高齢者等災害弱者の防火安全対策の推進
伊予地区広域斎場「聖浄苑」改築推進

伊予消防等事務組合
各消防署及び聖浄苑



藤岡 緑 議員

公正な入札制度に向けて見直しは

問 現在、町が発注する工事の予定価格は事後公表性をとっている。事前公表制は談合の温床になりやすい。

事後公表制にも担当者や業者間の馴れ合い防止や綱紀粛正が強く求められる。それぞれメリット、デメリットがあり、より公正な入札ができるよう制度の見直しに向け町の考えは。

答 和田総務部長

入札制度の見直しは、今回の情報漏洩事件の発生前から庁内職員で構成する松前町入札・契約制度改善委員会を立ち上げ公正・公平な入札制度に向けて検討していた。県内各自治体の入札制度を調査し、その内容を参考に当町の制度の問題点を抽出し協議を行ってきた。この中では入札価格の

公表の在り方は対象ではなかったが、今回の事件後は、これについても検討している。また地元業者の団体からも意見を聴いている。

実施方針が決まったら議会及び関係業者にも報告する。

問 その検討の結果はいつくらいをめどに報告されるのか。

答 予定価格の公表については、年度末をめどにお知らせしたい。

問 制度改善委員会に、法律的な専門家や学識者などの意見聴取も必要では。

答 一般競争と指名競争、事前公表と事後公表などの制度は、行政内部の事務手続きなので自治体の判断で行うため学識者の意見聴取は考えていない。

待機児童問題への対策は

問 10月から新規募集をかけている保育所や子ども園の家族に対して、待機児童を出さずに希望対象者は全員、入所、入園できるのか。

答 山田福祉課長

令和2年度の保育所の入所については、2月17日に決定通知を送って転出や空きができたところの調整を行っている。

待機児童の見込み数は、現在の時点で3歳未満児

が8人、3歳以上児が1人の合計9人だ。

その原因は、2歳児が施設の受入可能人数を超えた申し込みになったこと、0歳児、1歳児と3歳児以上は保育士が不足することによるもの。

問 保育所利用調整の項目に、パート、正社員で不公平な点数制度になっていないか。

答 保育が必要な事由に応じて、点数化している。雇用形態にかかわらず労働時間で点数化しているので、不公平はない。



西村 元一 議員

来年の完成予定が楽しみな松前中学校



問 昨年12月の入札を中止した要因は何か。

答 岡本町長

予定価格漏洩の疑いによる松前中学校改築工事の入札中止に関しては、議長の要請により議員全員が参加する会議において以下のように説明した。

「電話で情報提供があったこと、提供者が言った額が予定価格と合致していたこと」など中止を決めた経緯と理由をお話ししており、それ以上申し上げることはできないのでご理解願いたい。

問 町長の携帯電話に直接2回建設価格の問い合わせがあったと聞かすが、それは誰からの連絡だったのか。

答 私から申し上げるつもりはない。

昨年の松前中学校建て替え入札中止について
町長は、町民に対し明確な説明責任があるのでは

問 入札金額を調べた結果、漏洩した金額と同額で、通報者が金額漏洩した人を知っていたのか、それとも最初からそのことがわかっていただけなのか、そこが知りたい。

別の入札については事件扱いになり、町職員が逮捕されている。材料価格を業者に教えただけで捕まっている。

この問題では金額が同じということ町長の判断で中止している。その責任をどう感じているのか。それでもその人の名前を言うことができないのなら、警察に委ねても究明すべきだ。
今後、漏洩をなくさなければと考えるならもう少し深く究明していかなければならぬのではないか。

答 真偽は明らかではないが、入札の公正が損なわれるおそれを感じ、入札を中止した。

ただそれが事実かどうかについて、私は調査する能力も権限もないので、そこで止まっている。

必要であれば警察や司法が調査することである。また問い合わせの内容は、予定価格が漏洩しているのではないかという情報提供だった。
通報者のことを考えると、誰から通報があったかは、私から申し上げるつもりはない。

問 町長の言われたように警察に委ねて取り調べさせてもらえるように議会にお願いしたいが、構わないか。

答 告発行為に関して、私もはその証拠は何も持っていないし町としては、そういう疑いがあるということが入札は中止したが、告発まではしていない。議会が告発されるといっているのであれば、それは議会の判断に委ねられると思う。

問 不正入札予防の根本対策は。

答 これは関係者の倫理の向上しかないと考えている。制度の見直しにより不正が起こりにくくする事はできるが、どんなに整備しても不正を働こうとする者がいる限り不正は行われる。このため職員に対し公務員倫理の研修を徹底して行うとともに業者に対しても会合やその他の様々な機会を捉えて法令遵守を呼びかけていきたいと考えている。

外部委託で約560万円かけてできた

第5次松前町 総合計画



曾我部 秀司 議員

第4次・第5次松前町総合計画について

問 人口について

①第4次では、目標人口は35,000人だが、目標達成に向け、どんなことに取り組んだか。

平成31年4月末現在で、人口30,882人と目標値にほど遠い結果だが、その原因は。

②第5次の目標達成に向けた取組は第4次とかわらない。人口が減少傾向で推移していくことが予測される中で、どのように取り組んでいくのか。

答 岡本町長

①第4次の目標人口は、今後の本町の発展を願い、期待を込めたもので、少子高齢化による人口減少社会の進行などにより、人口を増加させるには至らなかった。

第4次の主要施策で人口増加につながるものとして「計画的な市街地整備の推進」などがあるが、あま

り進捗が図られていない。

しかし、中学生までの医療費無償化やイメージアップ戦略など、間接的に人口増加につながるまちづくりを進めることで、一定の人口を保つことができたと考ええる。

本町は県下で2番目に減少率が低く、県内で唯一転入超過となるなど、ほぼ横ばい状態を保っており、これは成果であると考え

る。
②計画に示された大きな方針や表現が同じであったも、具体的な施策については、方針に基づき、時期ごとに社会情勢に合わせ、計画的に実施計画で定め、新たな取組として実施していく

問 内容について

①第4次の課題が第5次の「現状と課題」の中になくはないのなぜか。

②第4次の「地球温暖化

対策の推進」では、どんなことに取り組み、どんな成果や課題が出たか。

③第5次に「漁業経営体や後継者の育成・確保と定着促進」とあるが、どんなことに取り組んでいくのか。

答 和田総務部長

①第4次の課題と第5次の課題は、対象としている範囲が異なるためである。また、第4次の課題以外にも、今後の10年間を見据え、第5次で新たに実施しなければならぬものもあるため、これらを含めた表現としている。

答 重松町民課長

②節電の促進など公共施設の運用改善、夏のエアコン電力使用量削減を図るための本庁舎などにおける緑のカーテンの設置、文庫センターなどの照明・空調設備を更新する省エネ改修工事などを行い、

2018年度の温室効果ガス排出量を2010年度比で約6.5%削減できた。

答 平村産業課長

③本町の平成30年の状況は、就業者数36人、漁業経営体数16経営体で、10年前と比較すると、就業者数が17人減少、経営体数が4経営体減少している。

今後、本町の漁業が持続的に発展していくためには、意欲のある新規就業者を安定的に確保し、漁業への就業定着を図るとともに、経営能力の高い漁業者を育成していくことが課題となっており、こうした現状を踏まえ、研修・指導体制の強化が必要と考えている。

実施するのは研修・指導体制の強化であり、そのことによって企業の経営感覚を持つ漁業後継者の育成・確保に努め、経営の安定・強化を図っていくと考えている。





影岡 俊範 議員

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



「SDGs」挑戦の10年から

問 第5次松前町総合計画は、SDGsを踏まえた施策の展開となっている。

- ① 海岸や河川の治水対策を促進するとあるが長尾谷川の川底の掘削はどうなっているのか。
- ② 要援護者管理システム、被災者支援システムの進捗状況は。
- ③ バイオマスタウン構想の推進では、稲わら・麦わらもみ殻等の利用は。
- ④ し尿及び浄化槽汚泥の

バイオマス活用は。

- ⑤ 地域社会全体で子育てを支援する体制でファミリー・サポートセンターが重要な位置にあると考える。利用会員及びサポート会員に対する当町独自の助成制度の考えは。

答 横山まちづくり課長

- ① これまでも長尾谷川の河床掘削を実施し、流下能力や貯水能力を向上させることを強く要望し、流末

の遊水池に堆積した土砂の除去を行っている。

答 大川総務課長

- ② 要援護者管理システムは、町単独で「避難行動要支援者管理システム」として平成28年度に導入。被災者支援システムは、愛媛県被災者支援連携システムを今年度末に導入し新年度から運用する。

答 重松町民課長

- ③ 稲わら・麦わらもみ殻等の利用は、現在農業経営者が土づくりのため田畑にすき込み、しめ縄等の材料

として循環利用している。

④ し尿及び浄化槽汚泥は、「塩美園」に処理委託し、平成12年の建設当時から肥料を製造している。

答 山田福祉課長

- ⑤ サポート会員に対する援助報酬額を引き上げると共に、低所得世帯の利用会員に対して援助報酬額の一部を補助する制度を創設して負担の軽減を図り、子育て世帯が制度を利用しやすい環境を整える。

エコスクールと「SDGs」とは

問 環境に優しく持続可能な学校づくり、エコスクールの当町の取り組みは。

答 本馬教育長

町内の小・中学校でのエコスクールの取組として、岡田小学校・北伊予中学

校・松前中学校の3校は、太陽光発電設備を設置し発電力を活用。

また松前中学校の体育館は、雨水をトイレの洗浄に使用。岡田中学校は夏場に緑のカーテンを実施。松前中学校の改築において環境に配慮したこと

は、LEDランプの使用。主要な教室の内装は木材を使用。外壁、1階床下及び天井裏等に断熱材を使用。断熱効果を高めるため複層ガラスを使用。節水対応は女子トイレの擬音装置の設置等である。

●ことば解説

※「SDGs」とは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

★これも気になる一般質問

Q 新型コロナウイルスの感染拡大に対し、町の対策は
(藤岡議員)

A ★県内初の感染者が発覚して、松前町新型コロナウイルス本部を設置、感染予防に取り組み、町の主催する不特定多数の参加するイベントや会議は原則縮小、延期、中止に。★国、県からの最新情報を集約し、HPを随時更新しながら町民への注意喚起を。★備蓄していたマスクは必要な機関へ。BCP体制は平成21年、27年の新型インフルエンザ業務継続、行動計画を準用して対応する。

Q 訪問介護の生活援助事業の利用は
(西村議員)

A 訪問介護の生活援助は、基準が定められており、家族等の同居、別居にかかわらず、利用者本人、家族等が家事をできない場合に保険給付が行われる。

2.10
臨時議会

松前中学改築工事15億8312万円で落札!!

★賛成8反対4で可決!!

議案第1号
松前中学校改築工事請負契約の締結について

◎提案理由

入札日は令和2年1月27日、一般競争入札にて実施。

◎工事請負業者

松前中学校改築工事

一宮工務店・一神組・松

前土建特定建設工事共

同企業体 一宮眞喜男

◎契約金額

15億8312万円

(税込金額)

●審議内容

設計金額が漏れた疑いがあるとして、令和元年12月2日に中止された入札のやり直し。

反対討論 (伊賀上議員)

今回の入札も最低制限価格14億3910万円に対し、落札額が14億3920万円(いずれも税抜き金額)の落札価格であった。14億円



を超える金額で10万円しか違わないのは常識外れ、適正な入札が考えてほしい」と伊賀上

明治議員が指摘。各議員に対して反対討論をおこなったが、『賛成8反対4』で可決した。

◎提案理由

夫婦遊水池(筒井)

にある、義農湛水防除

施設のポンプ稼働用エンジン2台の改修をおこなうもの。

◎補正予算

2285万7千円

●審議内容

新しい機械との入れ替えを課内で検討したのか。

◎審議内容

費用と工期の両面から検討した。修理であれば1台については3月中の完成が、部品の調達があればもう1台も5月末までの修理がそれぞれ見込めるということで判断をした。

◎審議内容

金額の対比はしていないが、メーカーからは修理の方が早いと聞いている。

◎審議内容

今後の修理は、リストを作成して老朽化している部品の早めの対応をお願いしたい。(全会一致で可決)

◎審議内容

次回の改修事業では補助金を利用する計画はあるのか。

◎審議内容

もともと農林水産省の補助で行っているが、公共下水道事業の雨水事業の中で補助をとれたら受けたいと考えている。



町民の声

新型コロナウイルスに思う

筒井 どころ

予想通り、オリンピックが延期されようとしている。新型コロナウイルスはパндеミックであり、SARSのように終息することはあり得ない。新型コロナウイルスのインフルエンザのように一年を通して感染が見られ、来年もコロナが居る。

愛媛の場合は今の所、巷にウイルスがあふれていない。国内では現状の対策で局所的な集団感染もありうるだろうが、イタリアなどのように国ごと打ちひしがれることはないと思える。黄砂に乗ってこないのか？一般的に黄砂には細菌やウイルスがのっかってくる。納豆ができたのは黄砂に乗ってきた納豆菌によるものという話もある。新型コロナウイルスにとって黄砂

は客船級の大きさでゆったりとしているだろう。そうクルーズ船のように。飛んできたウイルスが失活しておれば何も怖くない。しかし、病原性が維持されているとしたら恐ろしい。高齢者は必ずワクチンを接種しておきたい。

※投稿時期が3月下旬でした。東京オリンピックは来年に延期されました。

傍聴席

『インターネットを傍聴して』

西高柳のおばさん

新型コロナウイルス感染防止のための集会等の自粛で、初めてパソコンで松前町議会の傍聴をしました。

議場での直接傍聴との違いは、カメラの視野が狭いので、発言者の正面姿や表情が良く

見える代わりに全体の様子が見えないので発言者以外の様子がわからないことでした。

いつもは後ろ姿しか見えない議員の表情は良く分かり良いが、発言議員の反応だけが映るのは良くない。発言者以外の反応の音が何も聞こえないのは内容を共有していないのが無関心なのか、気になりました。（変なヤジは聞きたくない。）

質疑の内容は、ここでの質問かと思う物からもっと深く知りたい事等ありました。けれど議員さんご苦労様です。住んで良かった松前町のためこれからもよろしくお願ひします。



第2回定例会の開催は

令和2年6月9日(火)を予定しています。

新型コロナウイルス感染拡大状況で、予定が変更されることがあります。

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。

本会議は、町ホームページでライブ中継を行っています。

また、議会終了後、録画配信も行っています。ご覧ください。

「町民の声」をお寄せください

「ご意見・ご要望などをお寄せください。」

次号議会だよりの掲載の締切りは5月末です。（400字程度で必ずお名前・ご住所・ご連絡・ペンネーム（希望する場合）をお書きください。）

3/27 議員全員協議会を開催して

松前町の不正入札問題として予定価格の公表の時期が注目されていた。入札の事前公表で、それぞれ長所・短所がある。

そのため、入札制度の見直しなど、公正・公平な入札に向けて今後どのように再発防止策を考えていくのか、行政側からの回答を、年度末をめどに求めてきた。

★結果、松前町職員倫理条例を制定し、コン

プライアンス委員会の設置、訓令も出し綱紀粛正に努め、予定価格は事後公表とするというものだった。議員からは、事前公表にすれば、価格がオープンになり職員への重圧もなくなり県内自治体の多く（20市町中16）が採用している方式、という意見もあった。

談合の温床の恐れや業者育成の面からも事後公表方式で行くとの報告を受けた。

★具体的内容は、4月定例会全協で伝えるよう要請。

【宛先】

〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係

◆Fax 985-4148◆

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。



松前町で生きる & みんなで支える

どんな時でも子どもたちの笑顔は 私たちに元気を!

北伊予小学校 放課後児童クラブ

町内には3つの小学校にそれぞれ放課後児童クラブがある。

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症拡大防止対策のため臨時休業中だが、それぞれの放課後児童クラブは感染の予防に留意した上で開所中。



（全員マスク、各教室にはアルコール消毒液設置）

（活動内容）
・平日
放課後 18:30
・土曜日
8:00 ~ 18:30

*現在の長期臨時休業期間中も8:00 ~ 18:30まで開所中。
・毎日、100名 ~ 120名の子どもたちが利用中。
・職員12名体制で子どもたちの安心安全を見守り、健全な育成を温かく支援している。

★インタビューに応じてくれた二人



将棋が大好きな
藤岡勇真くん



ルービックキューブが大好きな
宮里怜音くん

まちの話題 子育ての強い味方! ワンストップ相談窓口が

★令和2年4月当町にも

妊娠から子育て期までの、さまざまなニーズに対して、総合的相談支援をワンストップで提供する「子育て世代包括センター」が開設。

例えば、当町でも子育てに関する申請窓口が2つ（福祉課と健康課）であつたものが統一される。

- ・業務内容として
- ・妊娠、出産、子育てに関する相談や情報提供
- ・母子保健に関する教室や相談の開催
- ・妊産婦、その家族や子育て親子の交流の場提供
- ・子育て援助活動支援（ファミリー・サポートセンター事業）
- ・母子健康手帳や予防接種手帳などの交付
- ・助産師による授乳相談（予約制。来所相談、家庭訪問での相談も可）

・こんにちは赤ちゃん訪問

経験の浅いママさん方には特に心強い味方となることは間違いない。

♥赤ちゃん木育初め、お子さんの誕生のお祝いとして、訪問時に木のおもちゃをプレゼント。

★選べる4種類

（積木、車、動物、ガラガラ）遊びの中で木のぬくもりを感じながら、心を豊かにしましょう。



積木の一例



編集後記

★年明け早々から新型コロナウイルスの猛威にさらされ、人の流れ、物の流れ、お金の流れも止まった。

★そのような中、令和2年度予算が議決され、まずはほっとしている。

★今こそ、知恵と勇気をふりしぼり、地球規模の危機に立ち向かおう。まずは、手洗い、うがい忘れずに。
（渡部恵美）

議員辞職願を受けて

町民の皆様への信頼を落としてしまったことを自覚し、全議員で相談しながら信頼回復に取り組んでまいります。

（松前町議会議長
加藤 博徳）



この広報誌は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。